

## 牛白血病汚染農場におけるサシバエ対策

： 飯田家保 松澤直樹

2015年5月時点で牛白血病の抗体陽性率が78.8%であった乳用牛約80頭（経産牛約50頭、未経産牛約30頭）を飼養するフリーストール牛舎の酪農場において、牛白血病清浄化に向けた対策の一環として、本年度よりサシバエ対策を実施。2017年5月から隔週で煙霧機による牛舎内殺虫剤散布及び蛆発生源への昆虫成長制御剤散布を実施。また、8月に搾乳牛舎及び育成・乾乳牛舎周囲に防虫ネットを設置。5月及び12月に抗体検査（ELISA法）を実施。その結果、陽性率は5月が79.8%（経産牛96.3%、未経産牛50.0%）、12月が78.8%（経産牛93.1%、未経産牛40.9%）。陽転率は36.0%（経産牛55.6%、未経産牛25.0%）。対策前と比較して、農場全体では陽性率の変化は認められないが、経産牛に対して未経産牛で陽性率及び陽転率共に減少が認められた。今後、清浄化に向けて、現在実施中の対策を継続すると共に、サシバエ以外の感染要因とそれらの対策についても検討が必要。